

アカデミーかわら版 特別号

東昭先生、NPO 初代理事長（2007 年～2009 年度）のご逝去

東昭先生は 8 月 18 日にお亡くなりになりました。98 歳でした。

先生は東京大学教授をご退任後、故郷の川崎市教育委員会委員にご就任ののち NPO かわさき市民アカデミーの初代理事長を務められました。講座でも長年にわたり「暮らしのなかの科学」など自然科学系講座のコーディネーター、講師を担当され、アカデミーの特色の一つとなっている科学系講座の発展に大いに寄与されました。

航空工学分野でのご活躍は多方面にわたり、テレビで放映された鳥人間コンテストの審査委員長を長年にわたり務められたのも印象に残っています。



東昭先生のご逝去お悔やみ申し上げます

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー理事長 太田猛彦

かわさき市民アカデミーが NPO 化された 2007 年からの 3 年間、初代の理事長を務められた東京大学名誉教授東昭先生が去る 8 月 18 日に逝去されました。

航空力学界の権威者として知られた東先生は本アカデミーの設立当初の 1993 年からカリキュラムの編成にかかわってこられ、いわゆる市民大学としての本アカデミーの大きな特徴となっている充実した科学系諸講座の基礎を固められた功績は忘れられません。また、NPO 化初期の難しい運営を指揮された功績も大きいと思います。東先生の名前は翼理論の権威者として、流体力学の端くれを勉強していた学生・院生時代の筆者には雲の上の人のようだったという感じで覚えています。また先生はトンボの研究でも有名で、想像するに市民向け講座に相應しい分かりやすい講義が展開されていたんだろうと思います。

東先生のご冥福をお祈りいたします。



追悼 感謝と敬意をこめて

かわさき市民アカデミー元学長（2008 年～2012 年度） 和田あき子

東先生は発足当初から運営委員で、運営委員会には必ず出席された。会議では黙って聞いておられたが、生涯学習の場では馴染みのなかった「科学」の講座を数年間で市民アカデミーに根付かせ、先生の講座は人気講座になった。

10 年後市民アカデミーを NPO で運営することになったとき、「理事長は東先生しかない」と受講生の方々とお願いした。先生は黙って私たちの話を聞いておられたが、その場で引き受けてくださった。忘れがたい市民アカデミーの歴史のひとこまである。先行き不透明な中で私たちは大きな力を得て、前に進むことが出来たのだった。

今年 2 月枝元なほみさんの訃報が伝えられた。「姪です」と先生が言われて、講座に来ていただいたことがあり、「東先生、お元気かなあ」となつかしく思っていたところでした。先生のお人柄を偲び、感謝と敬意をこめて追悼文を書かせていただきました。



東昭先生の遺志について

かわさき市民アカデミー名誉理事長 藤嶋昭

東先生が3年間 NPO 理事長をつとめられた後に、私は第二代目を引き受けました。NPO としては4年度目、アカデミーは18年度目でした。先生はアカデミー3年度目の1995年度に自然科学系講座が出発した時から携われて、「総合市民大学」の一翼を担ってられました。自然科学系の講座が、気鋭の研究者の登壇により今日まで複数開講されている市民大学は稀有であり、東先生が撒いていただいた種のおかげであると感じております



先生の専門は流体力学・航空工学、私の専門は光電気化学・機能材料化学ですが、工学と市民生活の繋がりを探求するという点では通底しており、そうであるからこそこの市民大学でお目にかかることができたのだと思います。

異常気象、人工知能、データサイエンス、医療技術、動物と人間の関係など、自然科学と市民社会との接点に関する考察はますます必要になってきています。先生が築いてくださった市民と科学の出会いの場をこれからも大切にしていきたいものです。

東昭先生を偲ぶ

かわさき市民アカデミー受講生 折居晃一（元理事）

東先生の訃報に接し、色々な想いが浮かんで消えます。先生に直接接したのは NPO が発足した時、NPO 理事長としての先生でした。多くの先生方が去られ、アカデミーの存続が危ぶまれる中で、理事長としての東先生と学長としての和田先生が文字通りアカデミーを支える両輪として私たちを支えて下さいました。今思うといくら感謝しても感謝しきれません。一方では、先生は開学当初の科学コースの立ち上げとカリキュラムの編成（1995 年）にも腐心なさいました。市民大学の編成に科学を加え、市民にふさわしい科学とは何かに苦心なされながらのカリキュラム編成でした。その結果が、**生き物の科学～その形と動き～、乗り物の科学、身の回りの科学**、等に表され、身の回りのものに潜む論理と美しさを易しく解説して下さいました。学びと実践の場であるアカデミーへの変わらぬ愛情は受講生たちにも伝わり、カリキュラム編成から手を引かれた後でも、先生を囲んだ見学会が続いていきました。ご冥福をお祈りいたします。



“もっと先生のお話し聴きたかったです”

かわさき市民アカデミー事務局 清水弘恵

私は2003年から2005年まで先生の科学講座の担当をさせて頂きました。先生と私は1つ同じ趣味がありました。それは歌舞伎観劇です。先生は大学在学中、映画より歌舞伎の方が安かったので空き時間に歌舞伎座の天井桟敷で観劇されていたそうです。

先生が NPO の理事長をされていたある日、「100 万あったら（十二代目）團十郎をアカデミーで呼びたいなあ。」と仰いました。理由を伺うと、「昔、大雪が降った翌日に私が研究所に行く途中、後ろから黒い車が来てしまって、避けて雪の中に立ってその車が過ぎるのを待っていたら、私の横でその車が止まって後部のドアが開いたんだ。中にいたのが團十郎で『どうぞ』と声をかけてくれたんだ。本当に驚いたよ。とてもいい人だから、是非呼びたいんだ。」と言われました。

結果それは叶いませでしたが、今、先生があちらの世界に行かれて昔の歌舞伎役者に遇ったりしてたら羨ましいです。



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報・地域連携部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ 3F <https://kawasaki-c-academy.jp/>

電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス HP はこちら↓

info@kawasaki-c-academy.jp